

環境共生地域学特論Ⅱ (2単位)

担当者氏名 上岡洋晴

◆学習・教育目標 (到達目標を記載)

人の環境共生社会における健康問題を考えるために、国内外の最新かつインパクトファクターの高い雑誌に掲載された論文を抄読する。これにより、自身の研究の質を高いものにするためのポイントの理解や、第三者の立場で研究内容の批判的吟味をするトレーニングを行う。最終的には、査読者として、論文の重要な諸点を指摘できる能力を身につけることを到達目標とする。

◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

疫学	臨床研究	ランダム化比較試験	コホート研究
ケース・コントロール研究	横断研究	システムティック・レビュー	
研究誤差		ユー	

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	論文抄読の方法 (第1週)	研究デザイン別の構造化抄録の作成 プレゼンテーション法	本講義のねらいは、最新かつよりインパクトファクターの高い雑誌に掲載された論文を精読し、ポイントを適格に把握するとともに、審査者の立場で問題点を指摘できる能力を身につけることである。予習・復習は共に、それぞれ少なくとも1時間は行うべきである。
2	論文抄読 (第2-14週)	自身の研究に関連する先行研究を紹介し、批判的吟味を行う	
3	総括 (第15週)	それまでの抄読から得られたことのナレイティブ・レビュー	

◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名／著者／発行所 (発行年)

臨床研究と疫学研究のための国際ルール集／中山健夫・津谷喜一郎編／ライフサイエンス出版 (2008)

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所 (発行年)

講義の際に随時紹介する。

◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト)

課題レポート及び授業中のディスカッションにより総合的に評価する。

◆オフィスアワー

通年で、毎週月曜日と木曜日の終日は研究室で、その他はメールで質問を受け付ける。

◆その他受講上の注意事項

自分の研究に関係する最新の論文を常に入手するようにしてほしい。